

隠密まち歩き ～未来をつくれた水辺の脱出路編～



名古屋城の緊急時に備え、名古屋城から北区を通って、定光寺(瀬戸市)へ行く**脱出ルート**が決められていました。航路として開拓され、染色業の発展を支えた黒川、脱出路と想定されていた御用水、2つの水辺を歩いてみませんか。

赤いルート…H29.3.4に実施したまち歩きルート(距離 約 2.3km) 黒川駅スタート、友禅工房ゴール 所要時間30分～1時間

大聖山 安栄寺
名古屋城の鬼門除けとして、城から大聖不動明王が奉還されている。

兒子八幡社
通称兒子宮(ちごのみや)。虫封じの神として信仰が深い

地下鉄名城線
黒川駅

北清水親水広場
かつて名古屋と犬山を行き来する船の船溜まりだった。

染色業
明治40年頃から、黒川のきれいな水により盛んになった。黒川では染物の糊落しもしていた。

渡邊染工場
名古屋型友禅の工房

御用水跡街園
1663年庄内川の水を、名古屋城のお堀にひく目的で御用水がつけられた。その御用水を埋め立ててつくった街園。